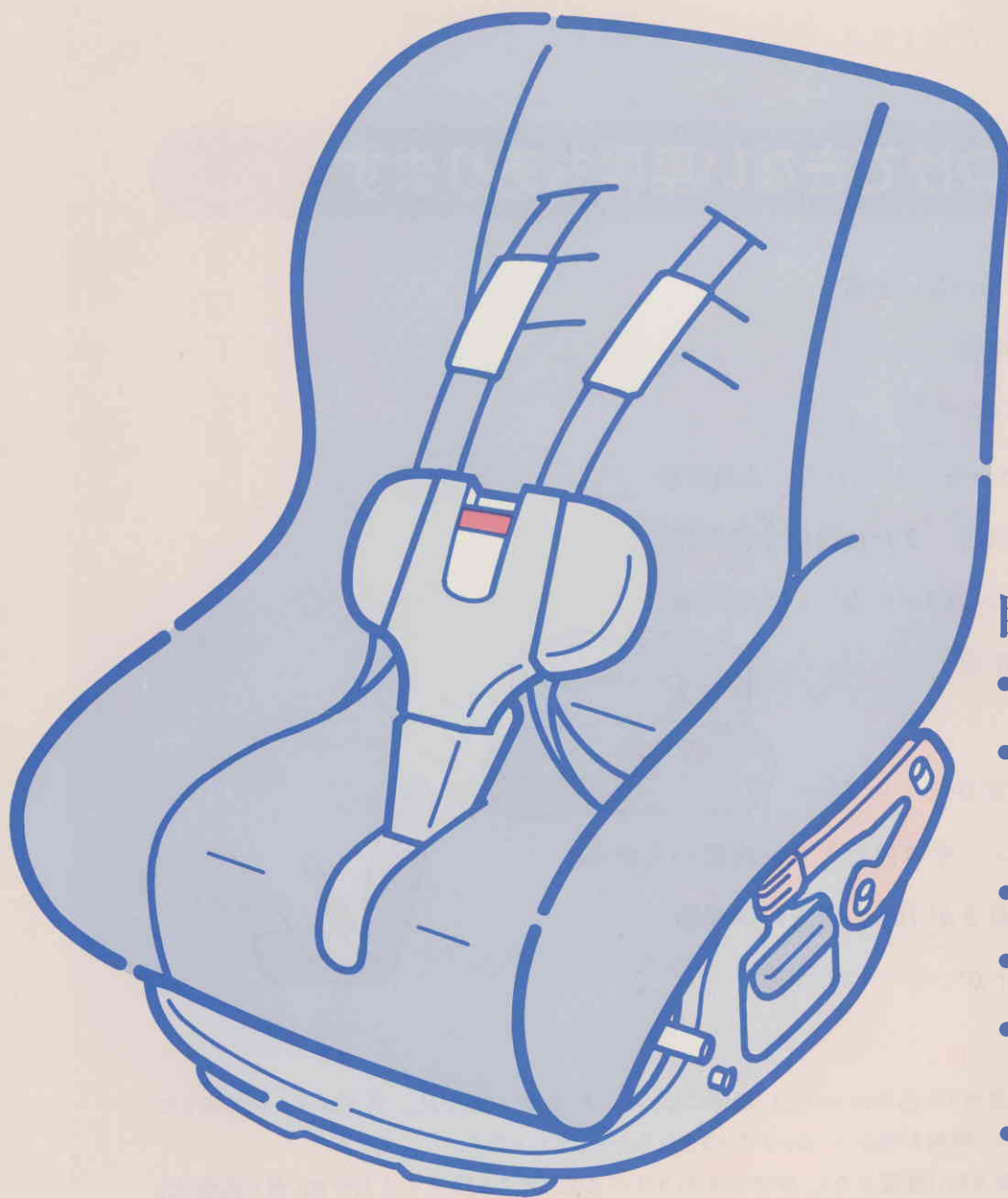


レミントン

取扱説明書



目次

- ご使用の前にお読みください……………1
- レミントンの使い方をわかりやすくご説明するために、各部分になまえをつけました ……………2
- 取りつける前に準備しましょう ……………3
- では、いよいよ取りつけてみましょう…6
- 取り付け方に工夫がいるシートベルト（後座席）があります……………13
- かんたんリクライニングで、ゆったりドライブしましょう ……………14
- いつもきれいなシートで、お洗濯もラクです ……………15
- 安全のためにお守りください…16・17
- 緊急の場合の処置 ……………17

レミントンは、交通事故などの場合にお子さまの障害をより軽くすることを目的に開発されたカーシートです。

安全をより確かなものにするために、この説明書をお読みになって正しくお使いください。なお、本書は車の中に保管し、必要に応じてお読みください。

ご使用の前にお読みください

次のようなお子さまに使っていただけます

- 体重** —— 7 kg 以上 18 kg 未満
- 参考年齢** —— 生後 4 ヶ月頃から 4 歳まで
- 身長** —— レミントンに座らせたとき、後頭部が背もたれの上から出ないお子さま
- 首** がしっかりとすわったお子さま

取り付けできない座席もあります

- シートベルトのついていない座席
- 奥行が 45 cm 以下の座席
- 極端なバケットタイプの座席
- ELR 付 2 点式シートベルトがついている後座席
- 進行方向に対して横向き、または後向きの座席
- シートベルトが座席の中間から出ている後座席
- シートベルトの間隔距離

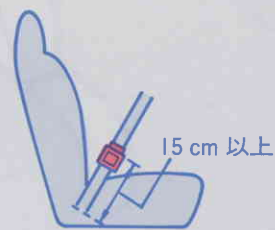
が 30 cm 未満の座席



- バックルが座席に固定されている

ものでバックルにタングをはめたとき、座席の上から、

タングの位置までの長さが 15 cm 以上の前座席



- パッシブシートベルトがついている座席

★ ELR 付シートベルトとは

〈緊急ロック式ベルト巻取装置付〉で通常ゆっくり引く場合にはベルトが自由に出入りし、急ブレーキや衝突などの衝撃を感知したときだけロック機構が働き、ベルトがロックされるシートベルトです。

- シートベルトにはこの他、巻き取り装置がなく、身体に合わせてベルトの長さを調節する NR 式(長さ調整式)シートベルトと、ロック機構がなく、ベルトを全部引きだして身体に合わせてベルトの長さを調節する NLR 式(非ロック式ベルト巻取装置付)シートベルトがあります。

レミントンの使い方をわかりやすくご説明 するために、各部分になまえをつけました

(正面)

肩ベルト通し穴
(3段階)

パッド

バックルボタン

肩ベルト

肩ベルトカバー

腰ベルト通し穴

クッション

パッドカバー

(右側)

(左側)

(背面・側面)

肩ベルト

後向き
取り付けフック(2ヶ所)

リクライニングレバー
(左右)

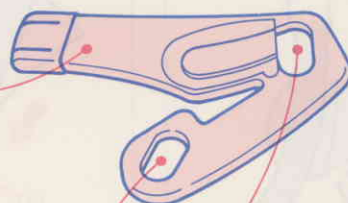
前向き
取り付け用フック(2ヶ所)

アンカー
(左右)

通気孔

肩ベルト調節金具

ベルトガイド部

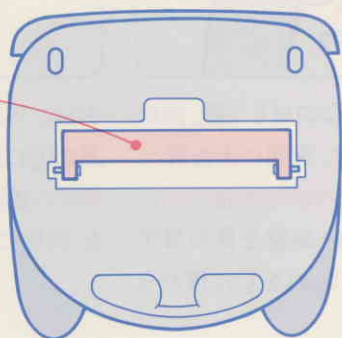


フック穴

ベルト通し溝

(底面)

アジャストステー
(後向きにとりつけ
るとき使います)



ベルトクリップ

(使い方は13ページに載っています)

車に取りつける前に準備をしましょう

●車に乗せる前に部屋の中で試してください。

お子さまの体格に合わせて肩ベルトの位置を決めます

レミントンを車に取りつける前に、お子さまの体格に合わせて肩ベルトの位置を決めましょう。肩ベルトの位置は3段階。お子様を座らせて、肩のすぐ上にある穴に肩ベルトを通します。たとえば、お子さまの肩がいちばん下の穴とまん中の穴の間にある場合は、まん中の穴に。いちばん下の穴よりも下にある場合は、いちばん下の穴に肩ベルトを通します。



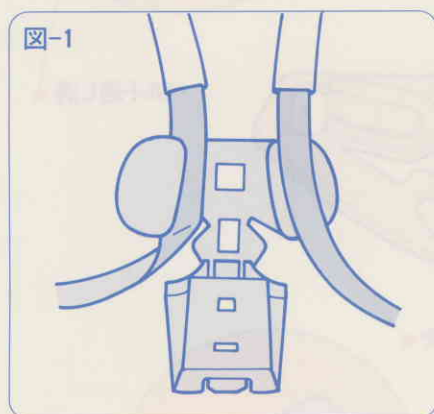
肩ベルトの穴位置は、必ずお子さまの肩よりも高い位置にくるようにしてください。

肩ベルトをはずして決まった通し穴につけ替えます

肩ベルト通し穴の位置が決まったら、肩ベルトをはずしてちょうどよい高さの通し穴につけ替えましょう。

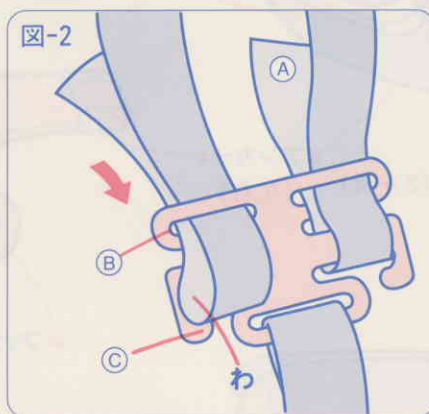
はじめに、肩ベルトを背面の肩ベルト調整金具から図3・図2の手順ではずし、肩ベルト通し穴から引き出します。

次に下の図を見ながら、取りつけましょう。

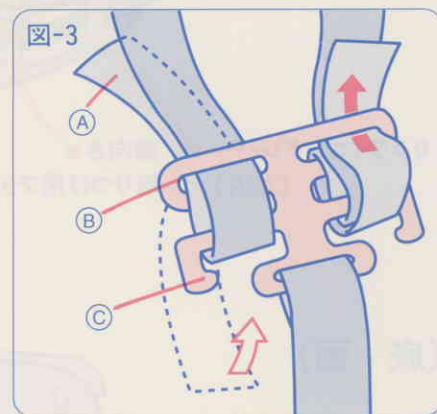


肩ベルトを通し穴に通す前に、パッドカバーを開けて肩ベルトが正しくベルト通し溝に入っているか確かめます。

上図のように、ひとつひねりを加えた状態で通し溝に入っていればOK。



肩ベルトをそのまま上にのばし、通し穴に入れて背面に出します。背面に出た肩ベルトを、図のようにベルトの端を後ろ側に2つに折り、肩ベルト調整金具の溝穴(B)に本体側から通して、わを(C)に横から差し込みます。



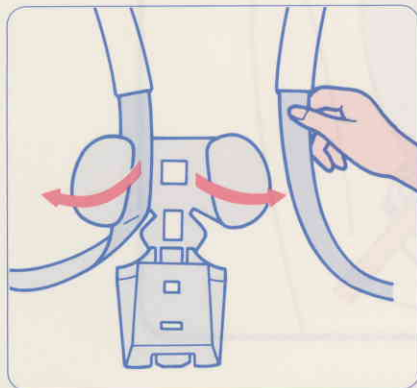
さらに、ベルトの端(A)を折り返して調整金具の(C)に通し、図のように溝穴(B)に手前側から差し込みます。もう一方の肩ベルトも、同様にして取り付けます。

お子さまの座らせ方、おろし方を試してみましょう

“レミントンを車に取りつけてはみたものの、おとなしく座ってくれるかしら……。” そんな心配、少しはありますね。そこで、車に取りつける前にもうひとつ、お子さまの座らせ方、おろし方を練習してみましょう。2～3回試してみれば、狭い車内でまごつくこともありません。お子さまといっしょに遊び感覚でやれば、レミントンに慣れて、ドライブ中のお座りもきっと楽しくなりますよ。



バックルボタンを下に押して、そのままパッドカバーを手前に開きます。



肩ベルトをベルト通し溝から引き出してパッドを手前に倒し、肩ベルトを左右に大きく広げます。



お子さまを深く座らせ、肩ベルトを左右の腕に通します。



パッドを起こしてお子さまの胸にあて、肩ベルトを通し溝に通します。このとき、肩ベルトは通し穴からまっすぐの状態です。



ベルトにねじれがないか確認してパッドカバーをおこし、カチツと音がするまで押して閉じます。



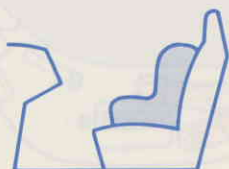
肩ベルトがゆるすぎたり、きつすぎたりしたら、P3の下を図のように背面の調節金具で肩ベルトの長さを調節します。

レミントンの取り付け方

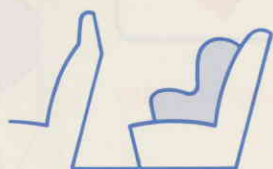
レミントンの取り付け方には、下の4通りがあります。お子さまの体重に合わせて選びましょう。安全性の高い後座席での使用をおすすめします。

前向き……体重9 kg 以上 18 kg 未満のお子さまに

後向き……体重7 kg 以上 10 kg 未満のお子さまに



前座席の場合



後座席の場合



前座席の場合

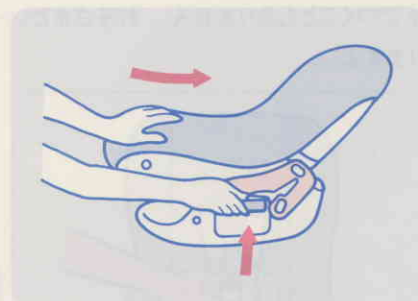


後座席の場合

アンカーのはずし方とベルトの通し方

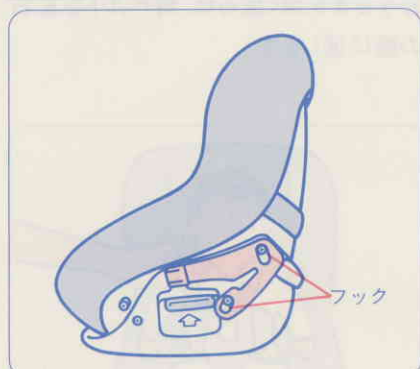
●レミントンを車に取り付けるときは、必ず、図のようにアンカーに車のシートベルトを通して固定します。

(取りつけ完了図)

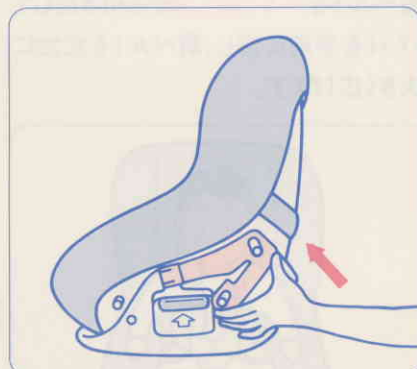


リクライニングを起こすときは、リクライニングレバーをあげながら本体を押し上げます。(詳しくはP14「リクライニングの仕方」参照)

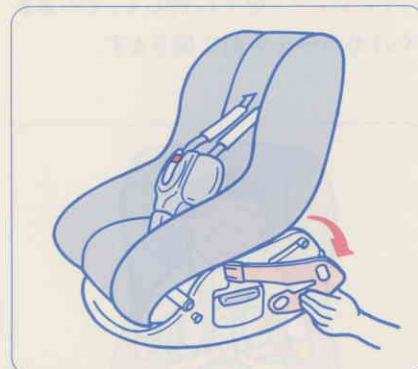
前向きに取りつける場合



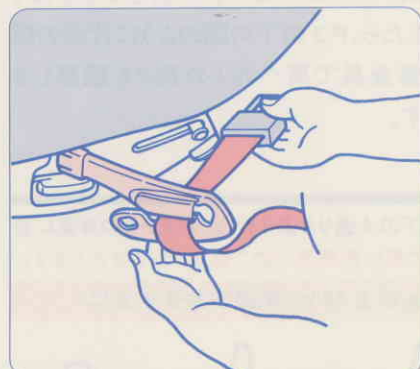
1 リクライニング(背もたれの角度)を一番起こした状態にして、アンカーのフックが見える状態にします。(反対側のアンカーも同じ状態になる)



2 アンカーを上を持ち上げ、**取り付け用フック**がはずれる状態にします。



3 アンカーを持ち上げた状態で**手前に引いて**、アンカーをはずします。



4 この状態で、アンカーに車のシートベルトをかけ再度、逆の手順(3 → 2 → 1)でアンカーをフックに固定します。

(ベルト通し完成図)



ご注意

必ずアンカーを上下2つのフックに同時にかけて固定してください。

後向きに取りつける場合

後向きで取り付けするときは、3で両サイドのアンカーをはずした後、リクライニングレバーをあげてリクライニングを一番寝かせた状態にしてからアンカーを後向き取り付け用フック(2ヶ所)に固定します。(詳しくはP9「後向きに取りつける場合」参照)



では、いよいよ取りつけてみましょう

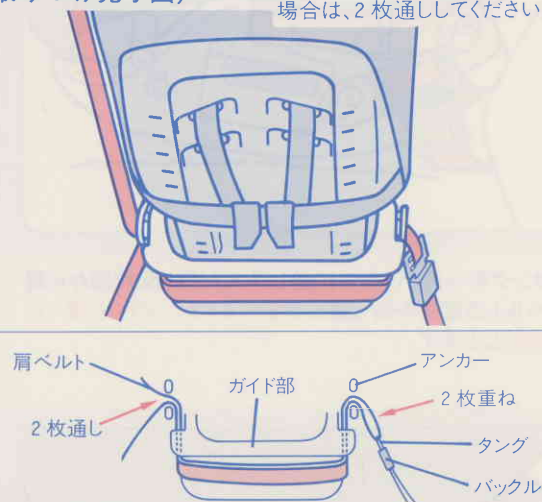
 **体重 9 kg 以上 18 kg 未満のお子さまに**
前向きに取りつける場合 取りつける前に、リクライニングを一番起こした位置にしてアンカーを、はずせる状態にしておきます。(P 5 参照)

1 3点式シートベルトで固定する場合 (前座席、後座席共通)

〈腰ベルトと肩ベルトを2枚重ねて通す場合〉

(取りつけ完了図)

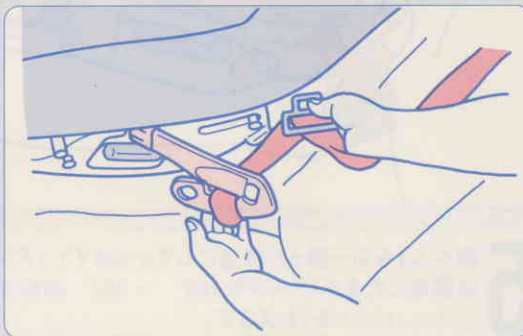
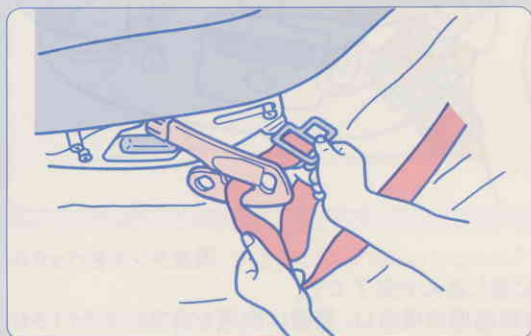
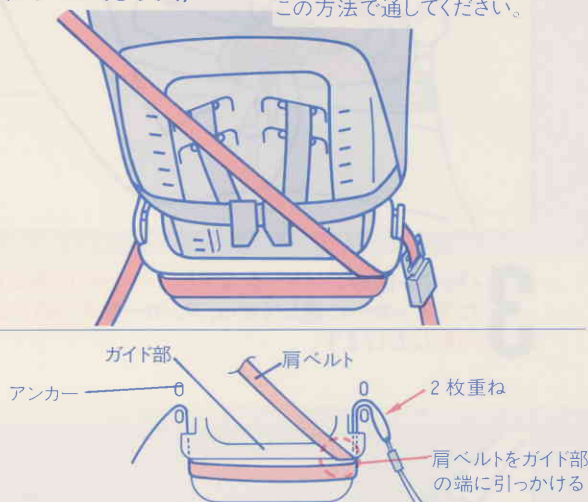
シートベルトの長さに余裕のある場合は、2枚通してください。



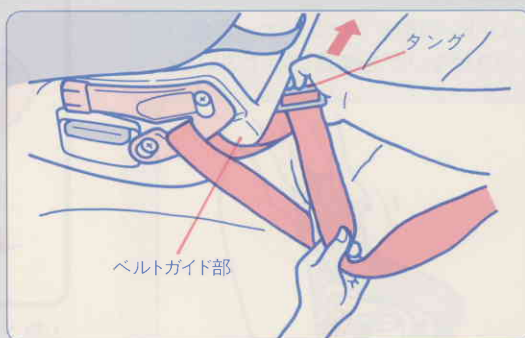
〈腰ベルトを1枚通す場合〉

(取りつけ完了図)

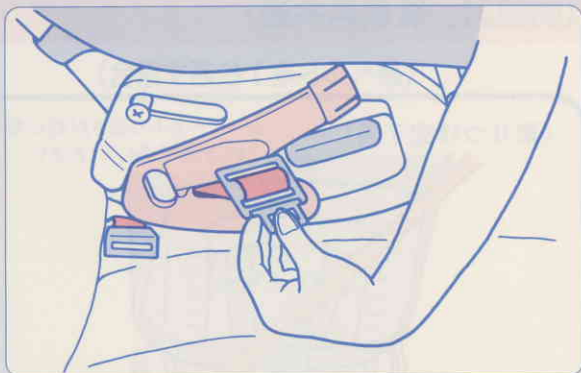
シートベルトの長さが短い場合はこの方法で通してください。



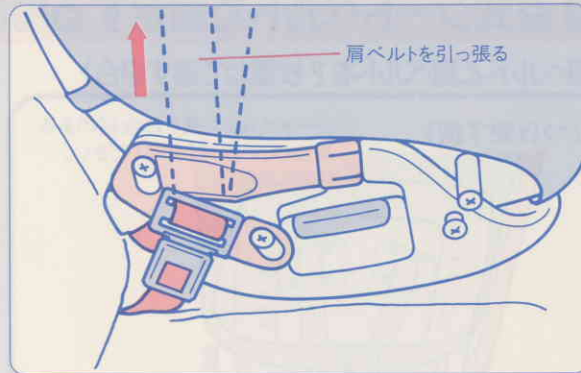
1 レミントンを前向きにして座席に置き、**ドア側のアンカー**をはずして、シートベルトを図のように通します。
(前座席の場合は、座席を後方にスライドさせてから行ってください)



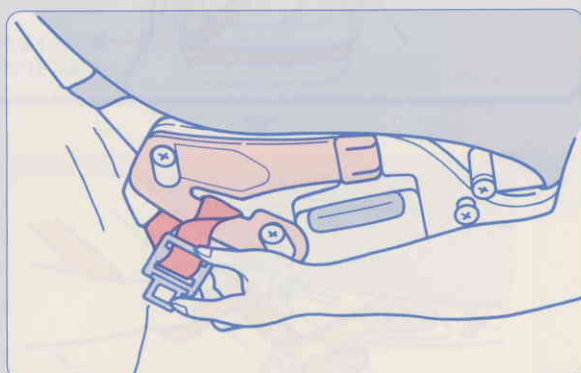
2 アンカーを**2つのフックに同時に**かけてから、タングを持ち、**ベルトガイド部に沿って**シートベルトを反対側(バックル側)に渡します。



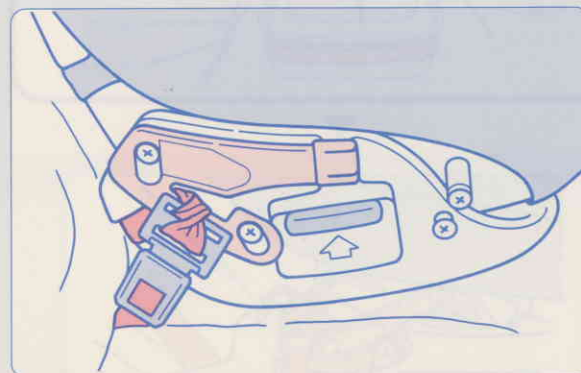
3 バックル側のアンカーをはずし、シートベルトを2枚重ねてアンカーに通してから、アンカーを2つのフックに同時にかけます。



4 タングを一度バックルに差し込んだ後、反対側から肩ベルトの部分引っ張って腰ベルトをしっかりと張った状態にします。



5 腰ベルトを引っ張った状態にしてからはずし(アンカーは固定したまま)タングを180° ~ 360° 回転させてベルトにひねりをくわえます。



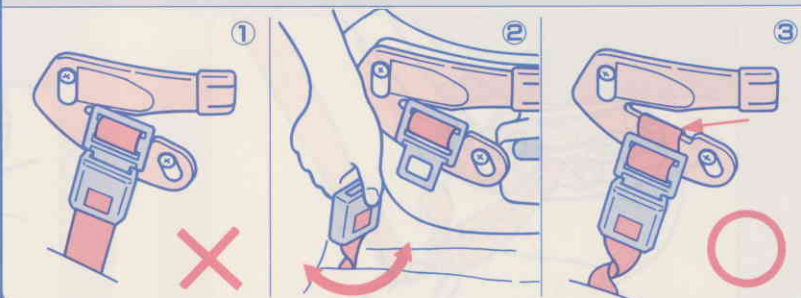
6 ベルトにひねりを加えた状態で、再度タングをバックルに差し込んで完了です。
(前座席の場合は、最後に座席を前方にスライドさせると更にしっかり固定されます。)

確認してください

レミントンの取り付けが終わった後、ぐらつきがないかを確認してください。



短ベルトを短くする方法



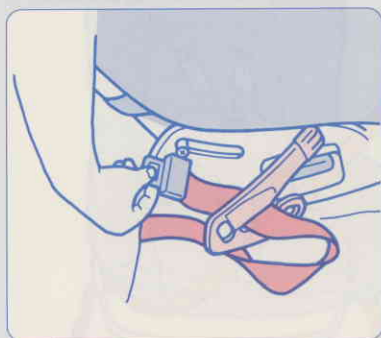
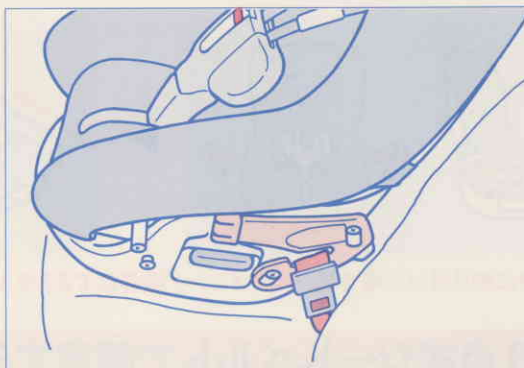
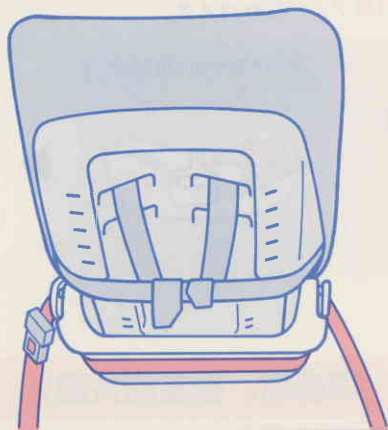
①短ベルト(バックル付のベルト)が、アンカーの上部に当たるか又は、アンカーより上に出てしまう場合は、②図のようにバックルをもって、短ベルトに数回ひねりを加えて短くし、③再度バックルに固定します。

※後座席の場合、短ベルトを短くする方法は上記のほか、ベルトクリップを使う方法があります。(P 13 参照)

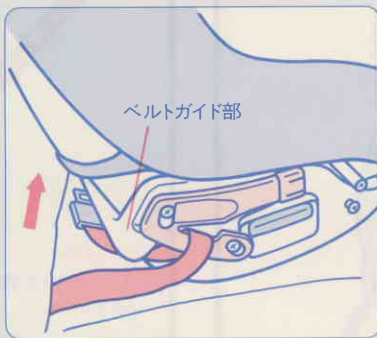
2 2点式シートベルトで固定する場合（後座席の窓側席または中央席）

※取りつける前にリクライニングを一番起こした状態にしておきます。（P 5 参照）

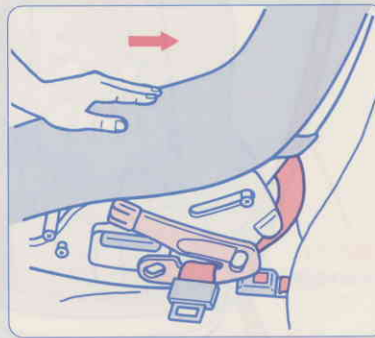
（取り付け完了図）



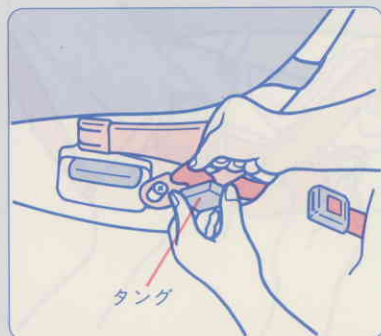
1 レミントンを前向きにして座席に置き、長ベルト側のアンカーをはずして、シートベルトを図のようにアンカーに通します。



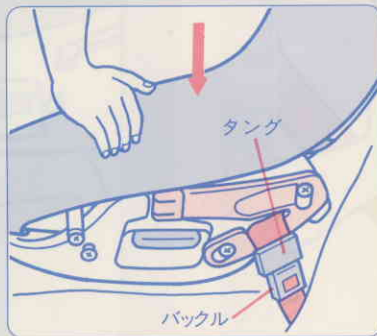
2 アンカーを2つのフックに同時にかけてから、シートベルトをベルトガイド部に沿って反対側（バックル側）に渡します。



3 バックル側のアンカーをはずし、シートベルトを通してから、レミントンを車の背シートいっぱいにつけます。



4 アンカーを2つのフックに同時にかけて後、図のように腰ベルトのながさを調節して、タングの位置が図-5の位置にくるようにできるかぎり、ベルトを短くしてください。



5 レミントン本体を座席に押えつけながら、タングをバックルに差し込んで完了です。

確認してください

取り付けが完了した後、ぐらつきがないかを確認してください。ぐらつく場合は、4に戻って再度腰ベルトの長さを短く調節してください。

ご注意

短ベルト（バックル付のベルト）がアンカーの上部に当たるか、又はアンカーより上に出てしまう場合は、一度タングをバックルからはずし、バックルをもって短ベルトに数回ひねりを加えて短くし、再度タングをバックルに固定します。

（P 7「短ベルトを短くする方法」、P 13「ベルトクリップの使い方」参照）

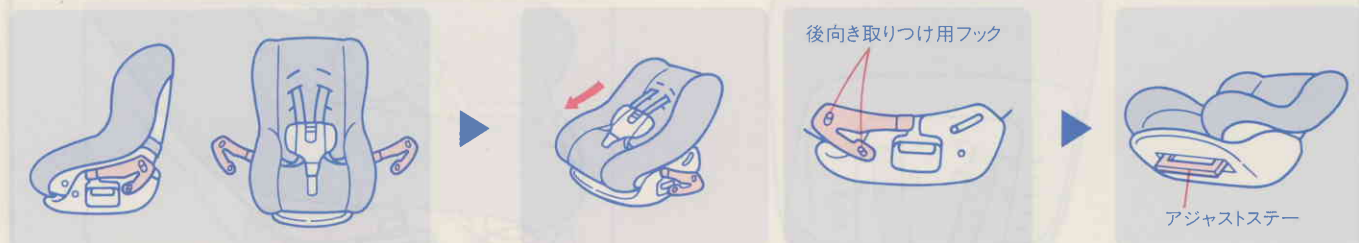
体重 7 kg 以上 10 kg 未満のお子さまに 後向きに取りつける場合

● 取りつける前に、次の図の方法でアンカーを後向き取り付け用フックにかけ、アジャストステーを起こします。

(1) リクライニングを一番起こした状態にして両サイドのアンカーをはずします。
(P 5「アンカーのはずし方」参照)

(2) リクライニングレバーをあげながら本体を一番寝かせた状態にリクライニングさせ両アンカーを後向き取り付け用フックにかけます。

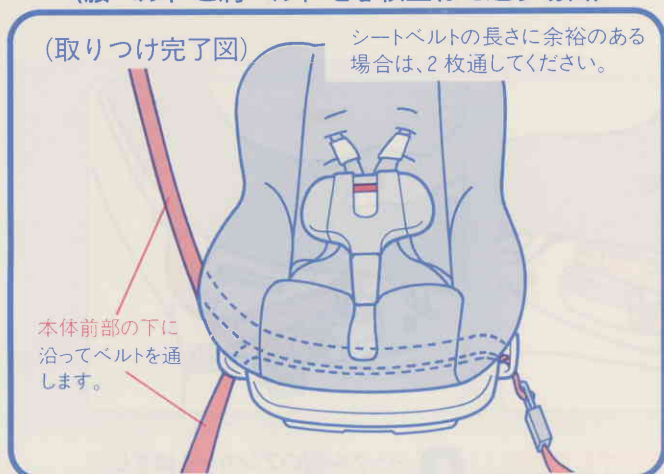
(3) 底面のアジャストステーを起こします。



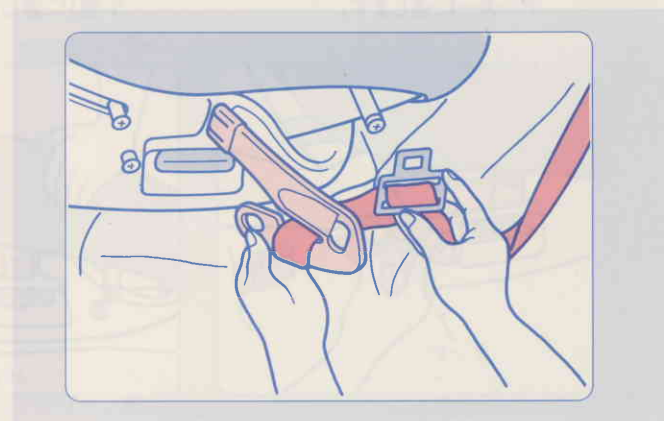
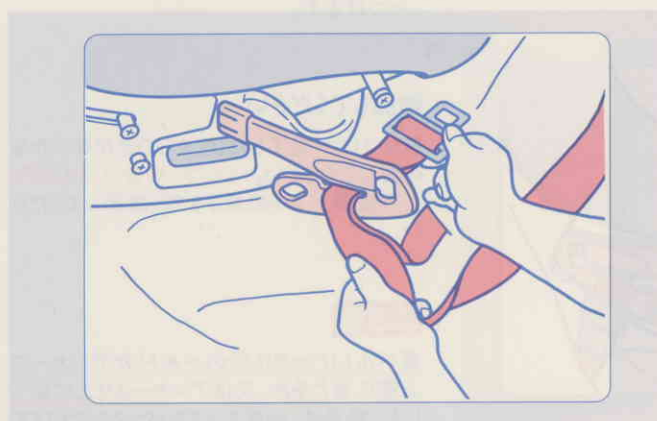
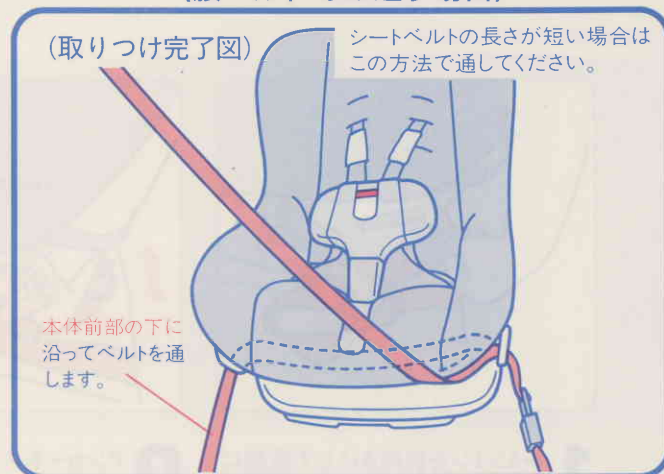
※ 後向きに取り付けた場合は、リクライニング操作はできません。

1 3 点式シートベルトで固定する場合 (前座席、後座席共通)

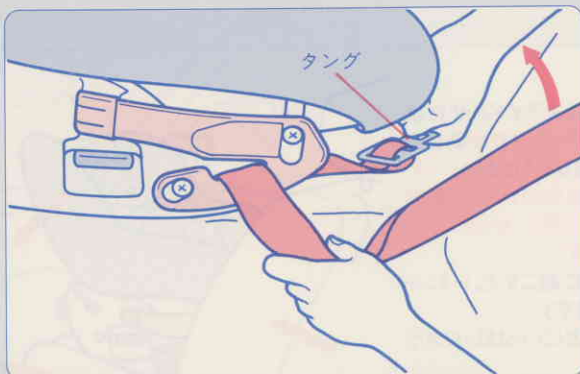
〈腰ベルトと肩ベルトを 2 枚重ねて通す場合〉



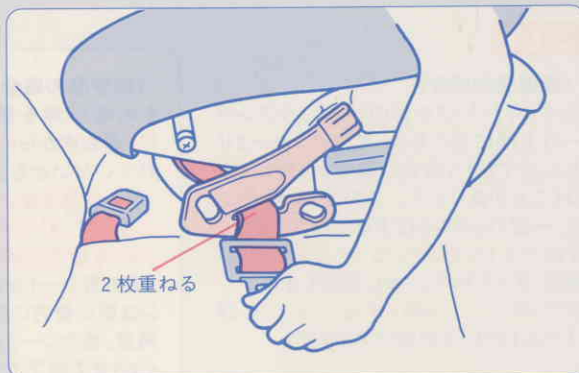
〈腰ベルトのみ通す場合〉



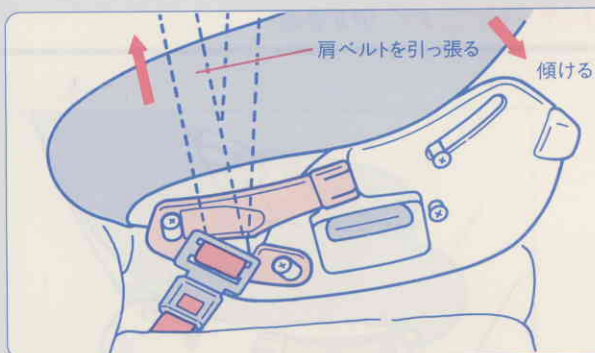
1 レミントンを後向きにして座席に置き、ドア側のアンカーをはずしてシートベルトを図のようにアンカーに通します。
(前座席に取り付けるときは、座席を少し後方にスライドさせてからおこなってください。)



2 アンカーを2つのフックに同時に掛けてから、タンゲを持ち本体の下に沿って、シートベルトを反対側(バックル側)に渡します。



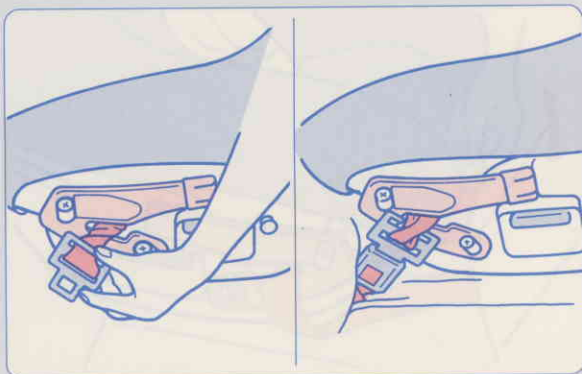
3 バックル側のアンカーをはずし、シートベルトを2枚重ねてアンカーを2つのフックに同時にかけます。



4 (後座席の場合)
タンゲを一度バックルに差し込んだ後、レミントンを少し後方に傾け、前座席の背シートに当て、反対側から肩ベルトの部分引っ張って腰ベルトをしっかりと張った状態にします。
(前座席の場合は、強く引っ張る必要はありません)



4' (前座席の場合)
ドアミラーの視界を妨げないために、タンゲを一度バックルに差し込んだ後、レミントンを図のように少し後方に傾けてからレミントンの前側を車の背シートに当てるように置き直します。(この時、図のようにレミントンの前側底面と座席の間に、すき間があくようにします)



5 4、4'の状態にしてから、一度タンゲをバックルからはずし(アンカーは固定したまま)、タンゲを180°～360°回転させてベルトにひねりを加えます。ベルトにひねりを加えた状態で、再度タンゲを、バックルに差し込んで完了です。



6 前座席の場合は、最後に座席を前方にいっぱいにスライドさせ、レミントンの背もたれをダッシュボードに接するようにつまみ寄せます。

(次ページ、**ご注意** へつづきます)

ご注意

＜後座席の場合＞

短ベルト(バックル付のベルト)がアンカーの上部に当たるか、又はアンカーより上に出てしまう場合は取り付け後にぐらつくことがあります。このような場合には、一度バックルをはずし、バックルをもって短ベルトに数回ひねりを加えて短くし、再度、タンクをバックルに固定します。(P 7「短ベルトを短くする方法」、P 13「ベルトクリップの使い方」参照)

＜前座席の場合＞

6 の前座席を前方にスライドさせた後に、運転席からドアミラーの視界が妨げられていないかを、確認してください。ドアミラーが見えないときは車のシートを後方に戻して、4' の手順に戻り、もう少しレミントンを後方に傾けます。(車の背シートを前方に起こすと、レミントンは更に後方に傾きます)再度、車のシートを前方にいっぱいスライドさせて完了です。

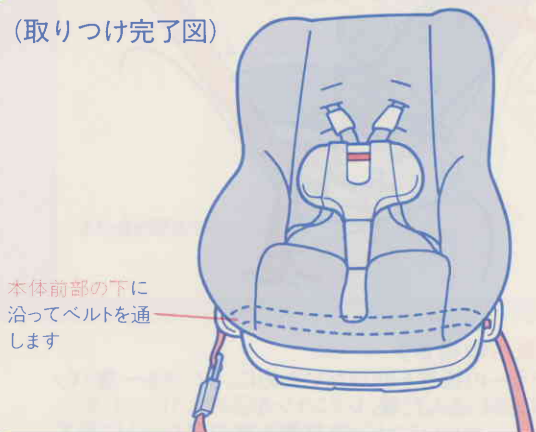


※ドアミラーの見える範囲は、車の種類や運転席の前後位置によって、異なります。

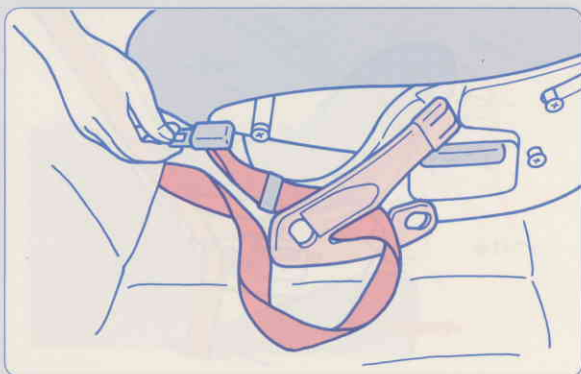
2 2点式シートベルトで固定する場合 (後座席の窓側または中央席)

※取りつける前に、アンカーを後向き取り付け用フックにかけ、アジャストステーを起こします。(P 9 参照)

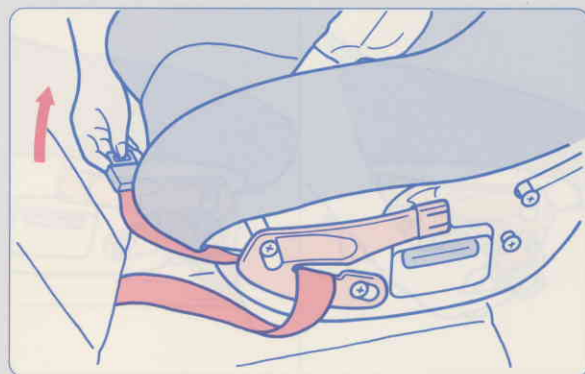
(取り付け完了図)



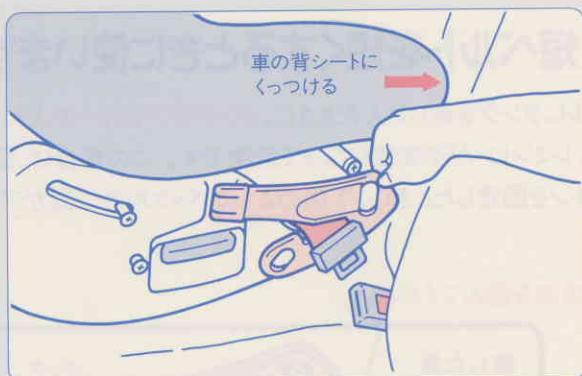
本体前部の下に
沿ってベルトを通
します



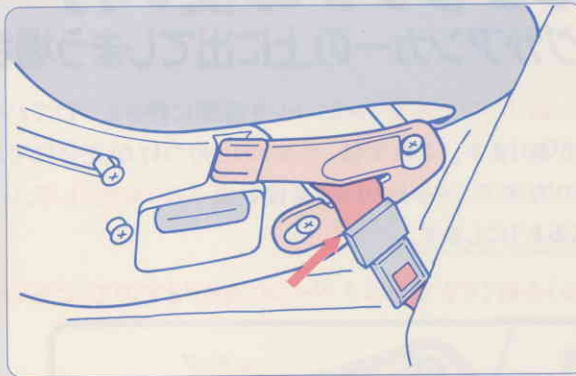
1 レミントンを後向きに座席に置き、長ベルト側のアンカーをはずして、シートベルトを図のようにアンカーに通します。



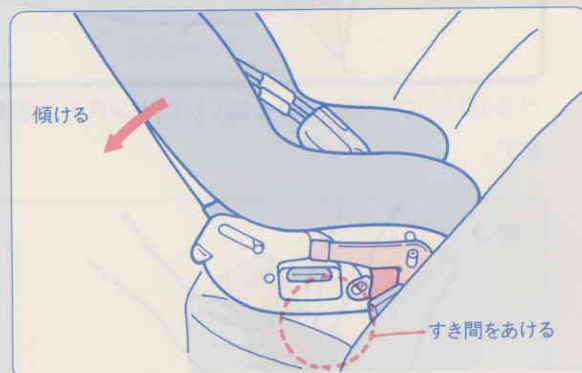
2 アンカーを2つのフックに同時に掛けてからシートベルトを本体の下に沿って反対側(バックル側)に渡します。



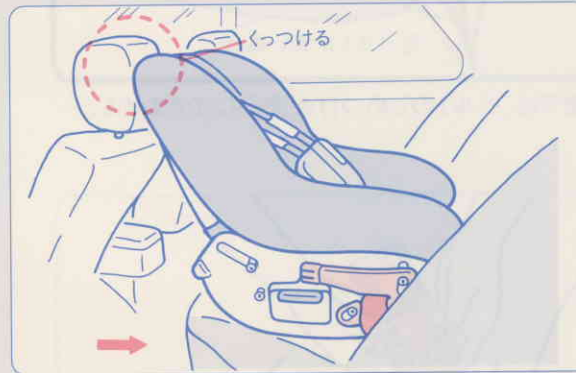
3 バックル側のアンカーをはずし、シートベルトをアンカーに通してからレミントンを少し傾けた状態にして、車の背シートいっぱいにくっつけます。



4 アンカーを2つのフックに同時にかけた後、腰ベルトの長さを調節してタンクの位置がアンカーの下部にできるようにできるかぎりベルトを短くします。
(P 8 図 4・5 参照)



5 レミントンを図のように少し後方に傾け、レミントンの前側を車の背シートに当てながら、タンクをバックルに差し込みます。この時、図のようにレミントンの前側底部と、座席の間に少しすき間があくようにします。



6 (窓側の座席の場合)
レミントンの背もたれが、前座席の背面にくっつくように、前座席を後方にスライドさせます。

確認してください

取り付け完了した後、ぐらつきがないかを確認してください。ぐらつき場合は、4 に戻って再度腰ベルトの長さを短く調節して、腰ベルトを張った状態でタンクをバックルに固定しなおしてください。それでもぐらつき場合は短ベルトをひねり、短く調節してください。

(P 7「短ベルトを短くする方法」、P 13「ベルトクリップの使い方」参照)

ご注意

短ベルト(バックル付のベルト)がアンカーの上部に当たるか、又はアンカーより上に出てしまう場合は、一度タンクをバックルからはずし、バックルをもって短ベルトに数回ひねりを加えて短くした上で、再度タンクをバックルに固定します。

(P 7「短ベルトを短くする方法」、P 13「ベルトクリップの使い方」参照)

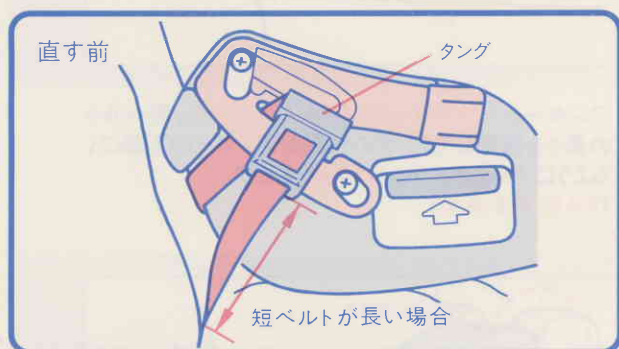
取り付け方に工夫がいる シートベルト(後座席)があります

ベルクリップの使い方

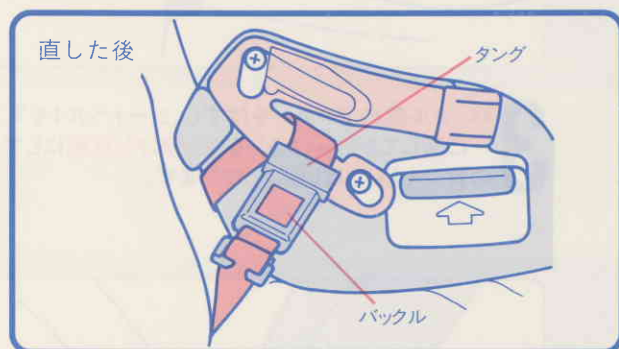
タングがアンカーの上に出てしまう場合、短ベルトを短くするときに使います。

後座席へ取りつける場合、レミントン(安全ベルト)を座席に押さえつけてバックルにタングを差し込んだときに、タングがアンカーの上に出てしまうことがあります。これでは、ベルトの締めつけが充分にできず、レミントンが不安定になって危険です。この場合は、図-1 から図-4 の方法で、ベルクリップを使い短ベルトを短くして、レミントンを固定したときに、下図のようにバックルの位置がアンカーの下にくるようにします。

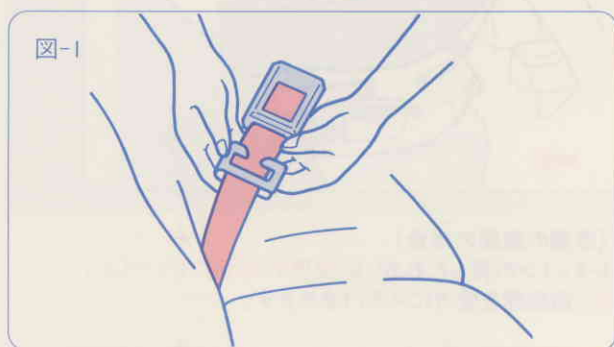
●短ベルトを短くする方法は 1 ページにもありますので、どちらかの方法を選んでください。



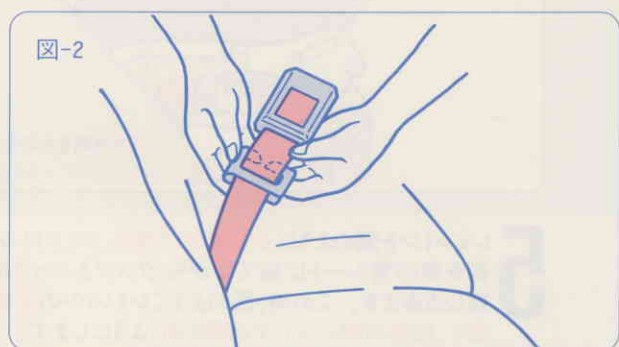
この状態では、ベルトの締めつけが充分にできません。



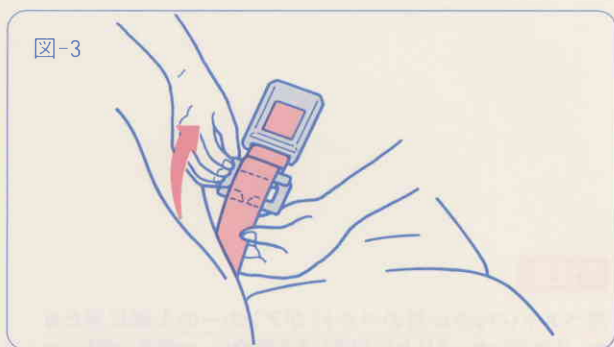
ベルクリップで短ベルトを短くして、タングの位置を下げます。



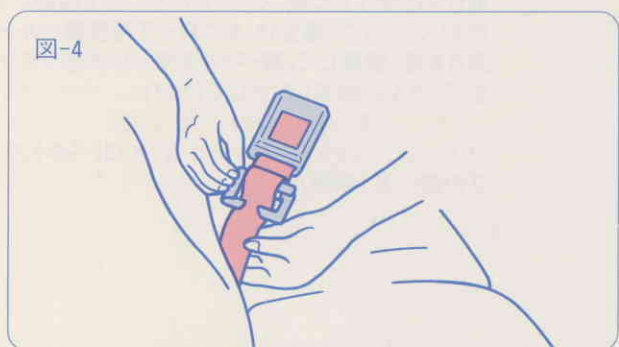
バックル寄りの位置にベルクリップを差し込みます。



ベルクリップの両方のツメにベルトをかけます。



手を持ちかえて、矢印の方向に回転させます。

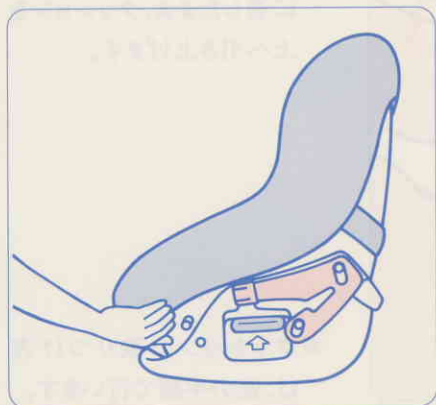


再び、ツメにベルトをかけます。

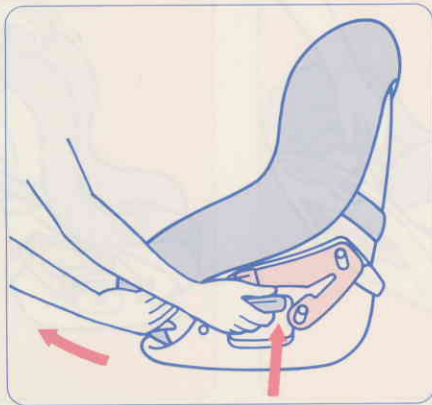
*まだ長い場合は、3、4 を繰り返してさらに短くします。

かんたんリクライニングで、 ゆったりドライブしましょう

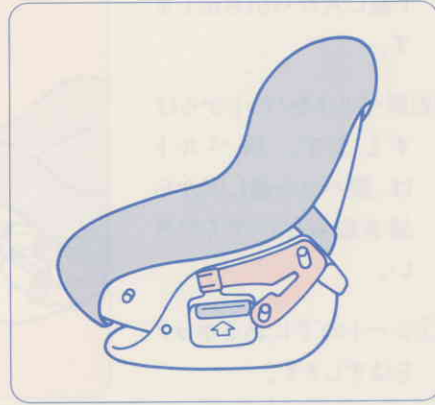
長時間のドライブ。お子さまにとって、ずっと同じ姿勢でいるのはたいへんつらいものです。お子さまのごきげんに合わせて、体の角度を変えてあげましょう。お子さまをシートに乗せたまま、レバー1つで簡単にリクライニングできます。リクライニングする時は、下の方法で角度を調節しましょう。



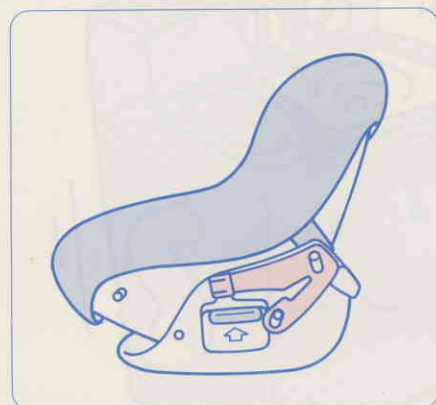
1 図の位置を片手で持ちます。



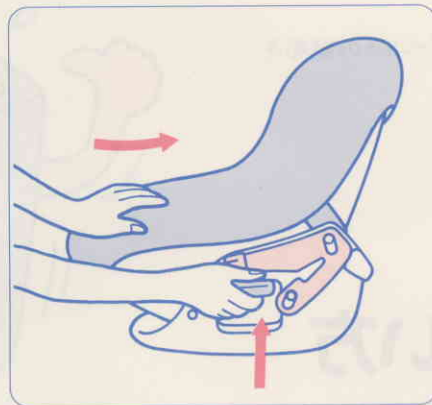
2 もう一方の手で、リクライニングレバーを上へ上げながら、本体を手前に引きます。



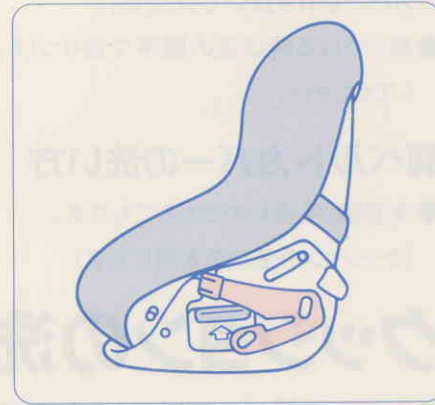
3 リクライニングレバーを離すと、オートロックされます。



4 さらにもう一度リクライニングさせると、いちばん下まで下がります。リクライニングは3段階です。



5 起こす時は、リクライニングレバーを上げながら本体を押し上げます。



6 本体が完全に起きている時だけ、アンカーがはずれます。

ご注意

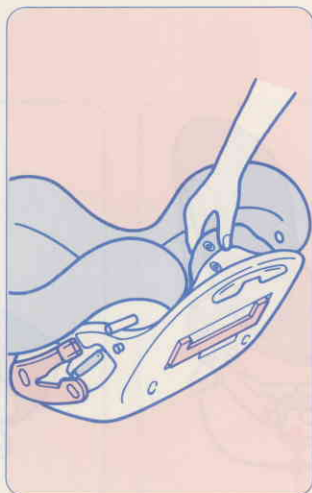
- リクライニング操作をした後は、ロックがされているかを必ず確かめるようにしましょう。
- リクライニングは、前向きに取りつける時のみ可能です。後向きに取りつける時は、リクライニング操作はできません。
- リクライニングレバーに、お子さまがさわらないように注意してください。

いつもきれいなシートで。お洗濯もラクラクです

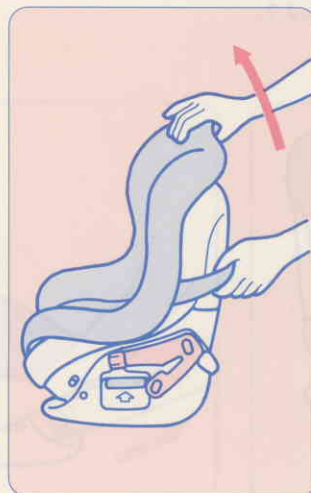
クッションのはずし方

(P 2「各部のなまえ」、P 3「肩ベルトのつけ替え方」参照)

①肩ベルトを肩ベルト調節金具からはずし、肩ベルト通し穴から引き出します。



②肩ベルトをパッドからはずします。肩ベルトは、腰ベルト通し穴から抜き取らないでください。



④パッドをクッションから抜いて、ベルトを腰ベルト通し穴に通したまま、クッションを上へ引き上げます。

③シートの下にあるホックをはずします。

※クッションの取りつけ方は、逆の手順で行います。

肩ベルトカバーの取り扱い方 (3 ページ参照)

- 3 ページの肩ベルトのつけ替え方の図を参照しながら肩ベルトを背面の肩ベルト調節金具からはずして、肩ベルトカバーを引き抜いてください。
- 取りつける時は逆の順序で取り付け、肩ベルトの調節をしてください。

肩ベルトカバーの洗い方

- 洗濯機、手洗いのどちらでも O K。
(クッションの洗い方と同じです)

クッションの洗い方

- 洗濯機、手洗いのどちらでも OK。水温は30℃以下にしてください。洗濯機で洗う場合は、弱い水流にして短時間で行ってください。
- 強く絞ると、シワが残るので軽く行ってください。
- 干すときは、風通しのよい日陰に平干ししてください。
- 塩素系漂白剤は、色落ちするので使わないでください。



本体、肩ベルトのお手入れ方法

- 普段は水拭きで充分です。
汚れがひどいときは、中性洗剤を水で薄めた液で汚れをとり、水拭きしてから日陰干ししてください。

安全のためにお守りください

①いつも走行前には、次のことを確認してください。

- レミントンは、車の座席にしっかり固定されていますか？
- 肩ベルトが肩にフィットしていますか？
- 肩ベルトにねじれやたるみはありませんか？
- バックルは、しっかりロックされていますか？

②お子さまがレミントンの上で立ったり、中腰になったり、正座をしたりしないよう注意してください。

③バックルボタンは、お子さまの力では押しにくい強さに作られていますが、何かの拍子にはずれてしまうことも考えられます。お子さまにはバックルボタンにさわらないよう言いきかせ、時々パッドカバーが開いていないかを確認してください。

④車の座席にクッション、座ぶとんなどを敷いたままレミントンを取りつけないでください。



⑤一度でも衝突事故などで強い衝撃を受けたレミントンは、外見上の破損がなくても、絶対に再使用しないでください。

⑥肩ベルトに傷がついた場合は、必ず新しいベルトに替えてください。

※性能向上のため、予告なく仕様を変更する場合があります。

安全のためにお守りください

- ⑦レミントンに直射日光が当たると、本体やパッドなどが熱くなることがあります。お子さまを座らせる前に各部分にさわって、やけどをしないことを確認してください。夏は日陰に駐車するか、本体に布などをかけておくことをおすすめします。



- ⑨2ドアや3ドアの車の場合、後座席に人が乗るときは緊急時の脱出のためレミントンを助手席に取りつけないでください。

- ⑩運転中にはレミントンの操作をしないでください。必ず、車を安全な場所に停車させてから行いましょう。



- ⑧このカーシートは、必ず自動車のシートベルトで固定してください。また、お子さまが乗っていないときでも、必ずレミントンをシートベルトで固定してください。

- ⑪レミントンを改造したり、本書にある以外の取り扱いはおやめください。

※性能向上のため、予告なく仕様を変更する場合があります。

緊急の場合には

事故など緊急事態のときは、保護者の方が〈レミントン〉からお子さまを解放し、すみやかに車外へ連れ出してください。

OMEM

コンビ株式会社

本社/〒101 東京都千代田区内神田3-16-9

お客様相談室/〒339 埼玉県岩槻市鉤上新田271 TEL.(048)797-1000

営業所/東京(03)3257-4661・大阪(06)353-7481・名古屋(052)934-3676・福岡(092)531-7896

特販事業部/TEL.(03)3256-8352

※製品の仕様は改善などのため予告なしに変更することがあります。



386023

製品には万全を期しておりますが、万一不都合な点がございましたら、上記あてへご連絡ください。

運輸大臣認定保安装置